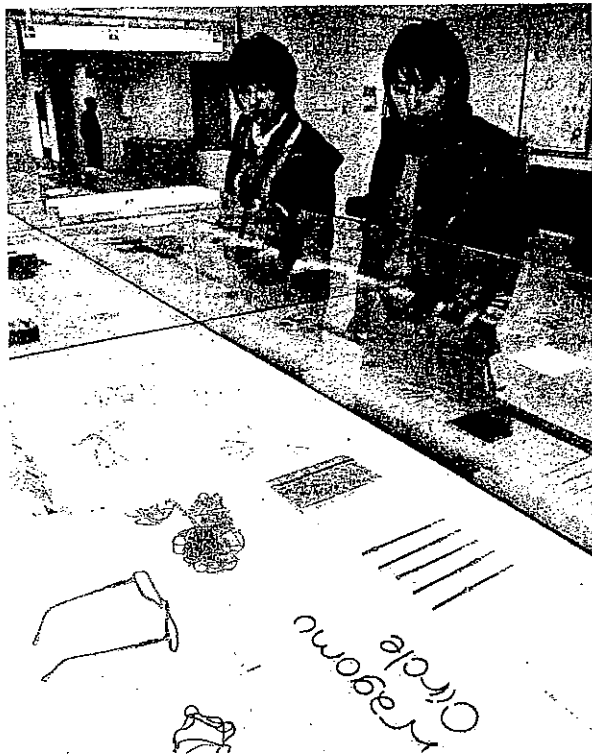


輪ゴムを材料にした作品が並ぶ「見いだされた『かたち』展1」  
徳島大学病院のホスピタルギャラリー



輪ゴムを素材にしたユニークな作品展「見いだされた『かたち』展1」が、徳島大学病院西病棟1階の「ホスピタルギャラリー」

徳大病院で作品展

「e」で開かれている。5月28日まで。

武蔵野美術大学基礎デザイン学科の2年生約25人が約60点を展示。輪ゴムを面白いの部品にして顔を

## 輪ゴム 変幻自在

### ユニーク60点ずらり

たどった「福むむ」、輪ゴムをラミネート加工したしおり、眼鏡のフレームや腕時計のベルトなど個性的な作品が並んでいる。輪ゴムは使わず、輪ゴムの跡を木の器や鉛筆に彫り込んだユニークな作品もある。

身近な素材の持つさまざまな表情を引き出す試みで、板東孝明教授(徳島市出身)が制作を指導した。

(佐藤陽香)